東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー テーマ
奉仕を通じて平和を

Vol.46　第2261回例会　2013.5.9

今年度会長テーマ　和で輪を広げ、前に進もう

■司会：
田中例会運営委員長

■点鐘：中丸会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
野澤会員

■お客様紹介：
野崎パスト会長

◆ゲスト：
卓話者　米元正子様

■会長報告　中丸会長

皆様こんにちは。今日は清々しい天気となりました。連休中も良い天気が続き皆様どの様に過ごされたでしょうか。家族と旅行に行かれた方、家でのんびりされた方等色々だと思いますが十分リフレッシュされたと思います。

今朝の新聞をみて私はたいへん腹が立ちました。日経では小さな記事でしたが、読売には一面に掲載されていた記事です。中国の政府、共産党を代弁する人民日報に論文が掲載され、琉球（沖縄）の帰属は未確定との記事でした。あたかも琉球は本来中国に帰属するような論文だそうです。私はこの場であえてばかばかしくてコメントはしませんが皆様どう思いますでしょうか。

さて、私は後半の4連休にゴルフ1日と一泊の旅行を旧友として来ました。

旅行では旧友とゆっくり温泉に入って来ましたが、帰途に車を運転していた友人が、いま興味があり見せたいところがあるとの事でその場所に向かいました。着いた場所はパラグライダーを体験するスクールでした。上級者は山の頂上から何十分も飛行していましたが、初心者は下の斜面でインストラクターに指導を受けていました。その中の半数以上がキャーキャー言いながら指導を受けている女性でした。パラグライダーと言えば適切な操縦をすれば安全性は高いと思いますが、突風が吹きバランスを崩せば空中から墜落する危険もあります。女性の社会進出は目覚ましいものがありますが、男性に比べて昨今の女性の何事にも挑戦する意欲と積極性を見た感じが致しました。

余談はこのへんにして本日11:30から行われました理事会の報告をさせて頂きます。

第11回5月度理事・役員会

2013年5月9日（水）　11:30～12:00
於　八坂神社社務所内事務室

1.4月の収支明細報告について
承認されました。

2.その他
①「東北すくすくプロジェクト」への支援金の件
東京ＲＣの100周年に向けて2011年7月にスタートした10継続プログラムへの支援金要請があり、前回の理事会で分区内の状況次第で判断する事としていましたが、今年度内に会長・幹事に一任して

実行する。2012年は、岩手県陸前市にチャイルドケアハウスを建設し、今年度は、気仙沼市に育児の為の講習会プログラムを立ち上げ、次年度は、R財団よりグローバル補助金を得て、母子の為の集会施設を計画中との事。

②新入会員である北久保会員の職業分類を「団体職員」から「不動産賃貸業」へ変更

③「歩こう会」に協賛金を予算化する件
小町会員より、「歩こう会」を年4回開催するにあたって、補助金を計上していただけないかとの提案があり、次年度より、年間5万円の予算計上を承認。

④次年度に向けての炉辺会合実施の件
野村クラブ奉仕委員長より5月14・15日の二日間炉辺を開催しますので、参加願いますとの事。本日の例会で出欠を回覧します。

⑤当クラブがスポンサーをしているR財団奨学生広澤智紀君の近況報告がカウンセラーの野村(高)会員からあり、今月中にケンブリッジロータリークラブと連絡が取れそうとの報告と6月22日に一時帰国する旨報告がありました。

⑥次回理事会の予定日
6月5日(水)を予定し、新旧理事・役員同席の会として、赤木幹事と石山副幹事に会場設定をお願いします。

■幹事報告　石山副幹事

■東京青梅ロータリークラブ：
創立50周年式典への事務局員受付業務協力のお願い
5月21日(火)　パレスホテル立川
12集合(打合せ・昼食)　登録開始14時

■ガバナー事務所：
第2580地区第8分区阿武隈ゾーンからのお礼について
・震災復興支援「仙台空港をバナーで埋め尽くし被災者を見守る」「仙台空港にモニュメントを建立する」プロジェクトに協力したお礼と式典の様子
→名取ロータリークラブのフェイスブックに掲載
・「被災者からの報告と世界のロータリアンへ送る感謝のメッセージ」
→約25分間のＤＶＤ貸し出し希望はガバナー事務所へ

■米山記念奨学会：
米山功労者感謝状の受理
石山 敬　会員　　第1回米山功労者

■東京ロータリークラブ：
東京ロータリークラブ写真同好会第8回作品展の案内について
2013年5月28日(火)～6月2日(日)
於　銀座アートホール

■東京清瀬ロータリークラブ：
卓話講師の依頼の受理について
野澤秀夫会員へ
5月14日(火)　午後7時～
於　清瀬けやきホール
テーマ「清瀬ロータリー合併？」

■東村山市国際友好協会：
平成25年度東村山市国際友好協会総会開催について
平成25年5月25日(土)　午後2時開会
於　市民センター

■回覧：
バギオだより
Tech　Talk(ロータリー財団専門家グループのニュースレター)

■出席報告　清水例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
31	28	0	4	85.71

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名
■前々回出席率メークアップ修正後：89.66%
■前々会メークアップ者：
野崎会員：米山オリエンテーション
漆原会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理会員

■ご結婚祝月：
野澤会員、樺澤会員
相羽会員

■会員誕生祝月：
山本会員

◆中丸会長、赤木幹事：
米元様、本日はようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。

◆野澤会員：本日はお陰様で結婚43周年を迎えることができました。家内は17年前、私は3年前、癌を患いましたが医食療法で元気になりました。とたんに廻田町上自治会長を仰せつかりました。地域の奉仕活動に邁進します。

◆田中会員：5月27日のクラブ対抗、今年も選手に選ばれました。頑張るぞ!! 今年の箱根駅伝では日体大が19位から見事優勝でした。我が児玉神川も19位から優勝を狙います。私も大黒柱として区間賞でなく、ベスグロを取ります。最近ハンドファースト、ダウンブローで進化していますので期待して下さい。

本日のニコニコ合計：　30,000円
累　　計　：1,201,100円

■米山功労者感謝状授与

■石山会員

■委員長報告

■山本地区オン・ツー・リスボン副委員長

皆さん、こんにちは。今日は戸澤委員長が欠席の為、私が代わりに報告させて頂きます。オンツーリスボンまで余すところ1か月となりました。本日、リスボンの風景など映写しておりましたが、見ていただけましたでしょうか。

おかげ様で、リスボンで行われます石川ナイトにも107名の登録をいただきました。2580地区からの参加は、今回少し少なめだったかもしれませんが、158名の方のご登録を頂戴しました。元気に賑やかに行ってきたいと思います。22日は東村山からバスで成田まで、また、帰りは成田から東村山まで東京交通さんにバスをお願いしております。詳細の出発時間、集合時間等は、飛行機のフライトの時間が決まってから改めてご連絡申し上げます。皆様ご病気などせず、キャンセルの出ないよう体調管理の方よろしくお願い致します。

■小町会員研修副委員長

新緑が心を和ませてくれる季節です。ロータリーの友5月号の紹介です。

まず表紙をご覧ください。庭先に刈りこまれた熊の家族を植木造形化されて家を監視し、泳ぐ小さな鯉のぼりがユニークで暖かい家族の賑やかさが洒落てます。横書き、田中ＲＩ会長の「奉仕を通じて平和を」テーマの中、インドで取り組むポリオ撲滅活動が3～17Ｐに掲載されてます。ＷＨＯによるとポリオの生存者は世界で1,000から2,000万人いると推定され、ポストポリオ症候群は、個人的、社会的、医学的、経済的、政治的問題として根強く存続するでしょう。「奉仕を通じて平和を」築くロータリアンのためのガイドが37～45Ｐに、田中ＲＩ会長の言葉「ロータリーのビジネスは、営利を目的としているのではありません。ロータリーのビジネスは平和です」また、バギオ訪問交流の旅を終えてと題し、東京東大和ＲＣ浦川哲男さんの記事が32、33Ｐに載っています。我クラブの野村高章会員も評議員として同行しています。そして35Ｐにあなたはなぜロータリアン？是非お読みください。縦書きは日本全国で活躍するロータリアンからの熱いメッセージが掲載されてます。これもまたお読み頂ければ幸いです。

■野村クラブ奉仕委員長

皆さん、こんにちは。回覧で見て頂きますが、次年度に向けての炉辺会合のお知らせということでお話しさせていただきます。私の方から委員長あてに、会長方針その他お渡ししてありますが、それに基づいて皆さんの方でお考えいただいたものをお話し頂きたいと思います。また、それぞれの委員会の活動方針をもう一度見直し頂ければありがたいと思います。

来週の5月14日(火)は、クラブ奉仕部門ということで、クラブ奉仕、例会運営、プログラム、クラブ管理、会員増強、会員研修、これらの部門の方たちにお集まり頂きたいと思います。翌日の15日(水)は職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕です。両日とも場所は「たきび」の方でご用意しておりますので、回覧が回った段階で出欠の記入をお願い致します。

■３分間スピーチ

■発表者紹介：
山本職業奉仕委員長

皆さん、こんにちは。本日の3分間スピーチは、お酒を1滴も飲まずに女性と1時間話ができる漆原会員です。3分では大変かもしれませんが、ぜひまとめて頂きたいと思います。よろしくお願いします。

■漆原会員

皆さん、こんにちは。自分は運が良いと思います。
丁度、今から8年程前の話になりますが、熱はなく、咳がひどくなり、おかしいと思っていたら、事務員が「病院へ行って薬をもらって飲めば、すぐに治りますよ」と言って町の病院に予約を入れてくれました。
病院で院長が診察し、たまにはレントゲンを撮ってくださいということでした。結果はすぐに出て「肺の右側下部が白くなっているので、肺炎です。二週間くらい点滴をすれば良くなります」ということで、二週間通院し治療を受けました。そして、またレントゲンを撮ったのですが、肺の白いところは治っていませんでした。すぐ、大きな病院でＣＴを撮れということで、ＣＴを撮り、一週間後に病院へ行ったら「あなたは癌です」と告知を受けました。しかも肺癌は死亡率が高いと聞いていましたので、頭が真っ白になりました。そして、追い打ちをかけるように「今から2つの病院を紹介するから、どちらでもあなたの良い方を選んで行きなさい」と言われました。なぜ2か所なのかと聞いたら「1か所だけ紹介して死んだら、いやでしょう。2か所だったら自分が選んだのだから悔いは残らないでしょう。」と言われました。その時のショックは今でも忘れられません。
病院は、当時、東京女子医大の分院で院長をしている先生に相談し、東京医大の加藤先生にお願い致しました。病院で選ぶのではなく、先生で選べと言われました。
この様なわけで、偶然にも癌を発見し、早期治療で完治しましたが、友達には「余分な人生」とよく言われます。これからは余分な人生を有意義に生きてみたいと思います。

■卓話

■卓話者紹介：相羽会員

皆さん、こんにちは。卓話者の紹介をさせて頂きます。本日はガーネット代表の米元正子様にお忙し中、無理を言って卓話をお願い致しました。米元さんと私は、倫理法人会の方では10年来のお付き合いをさせて頂いておりまして、倫理の方でも大変ご活躍されており、日本全国のいろいろな単会で講話もされております。
米元さんは以前、化粧品のセールスをやっておられ、世界32か国世界大会で日本一にもなられました。最近では、企業研修の講師や、話し方教室の講師などもされており、多方面でご活躍されています。倫理の方では、去年より後継者倫理塾の塾長として、二代目の後継者の教育などもやっておられ、私の会社の社員も学んでおります。米元さん、どうぞよろしくお願い致します。

■卓話者：
ガーネット代表
米元　正子様

～決してあきらめない～

皆様、こんにちは。ただ今、ご紹介いただきました米元正子と申します。相羽会長には倫理の方でとてもお世話になっております。今日はロータリークラブで卓話を、ということですが、そうそうたる諸先輩がいらっしゃる中、私で本当にいいのだろうかという思いでお話しさせて頂きます。ロータリークラブ様は200か国余りの国が参加する素晴らしい団体で、世界に発信され、ご活躍されていることは聞いております。倫理法人会はまだまだこれからでございますが、今日は「決してあきらめない」というテーマでお話しさせて頂きたいと思います。
私は今、71才です。柔道3段、元気だった夫が17年前に他界しました。9人姉弟で、女系家族です。7人が全部女性で、兄と弟の間に挟まっている末娘です。父は、セイコー舎の日本で3番目に古い下請けの工場を経営しておりました。父が会長、兄が社長、弟が常務ということで、主人とは昭和40年に結婚したのですが、すぐに肺結核になり、清瀬に1年間入院してしまいました。退院してから、もう勤めていた貿易会社には行けないということで、私の実家に就職しました。29年間、ずっと文句一つ言わずによく働いてくれました。そんな中で、私が化粧品会社の副社長をしているときに、主人が頭が痛いということで医者に行き、検査してもらったら、最初はリンパ線腫ということでした。ところが細胞をとって調べてみると、お医者様は亡くなる数時間前まで、妻の私にも教えてくれなかったのですが、発見されてから余命3か月の癌だったのです。上咽頭がんと言って、神経が集まっていて手術のできない場所だったのです。手術もしないでお薬だけで治りますよ、というお医者様の言葉は真っ赤なウソだったのです。
私は倫理を学んでいましたので、いろいろと先生方にご指導頂いた中で、3か月の命が1年16日も長らえてくれました。その間に夫婦という物がどんなに大切かということを学ばせてもらいました。今日、お見かけしたところ、まだ奥様がいらっしゃる方が多いようですが、奥様がもしご病気になったら、皆さんどのような思いで看護されますか？私はその頃、バリバリ仕事をし、出張で全国を飛び回っていました。毎週、金土日は出張でした。主人は何一つ文句も言わず、子供たちが小さい頃「今日もお母さんいないの？」と聞かれて主人は「お母さんはお仕事なんだよ。パパはママがいつもきれいな格好をしてイキイキと仕事をしている姿を見るのが好きなんだ。お家でおとなしくみんなで待っていようね。」と言い聞かせてくれました。ところが主人がそんな病気になり、金土日は外泊で病院から帰って来るのです。末期がんなのに「ママ、乗る人、僕、磨く人」と言って、自動車を必ず毎週磨いてくれたんです。フローリングの床もワックスをかけ、ベランダの花もきれいにして、土日は観劇やデパートへ買い物に行ったりして過ごしていました。

主人が亡くなる1週間前、私も看病疲れしていて、「今日は7時で帰らせて。」と言ったら「もう少しいてくれる？」というので、8時までおりました。8時になったら「いいよ、帰って。」というので「帰らせてもらいますね。」と帰宅すると、夜中にお医者様より、主人が大出血したと連絡が入りました。落ち着いているから大丈夫だということでしたので、私は朝3時に起きて大学病院へ駆けつけました。死ぬか生きるかの時なのに、主人は「お医者さんと看護婦さんに迷惑をかけてしまったから、後で御礼をしておいてね。」と言うのです。この時、私は主人から本当に感謝と謙虚さを学びました。その時、主人は耳も聞こえない、しゃべれない状態でしたので筆談だったのですが、その時にパッとひらめいた言葉を私はボードに書きました。「あなたは世界一素晴らしい夫です」それを見てニコッと笑って、その後、大出血して亡くなりました。亡くなる前に主人は、お見合いや恋愛をしてもなかなか結婚ができなかった娘(今43歳になり、一昨年、倫理の会長さんと結婚できたのですが)に「お前は絶対に幸せになれる。人がうらやむほどの結婚ができる。だからお母さんの言うことを聞いて相談しろ。」と言ったんです。それが遺言になってしまいました。その娘に「お母さんみたいに夫を大切にする奥さんになれよ。」と言い聞かせたのです。ところが、私は仕事、仕事で夫を大切にしておりませんでした。どうして亡くなる寸前にそんな言葉をかけてくれたかな、と今思うんです。私はそんな風には聞こえなかった、「お母さんみたいな奥さんになってはダメだぞ。」と聞こえたので、娘にもう一回尋ねてもらいました。主人は「そんなことは言ってない、お母さんみたいな奥さんになれって言っただろう。」ということで、私は号泣してしまいました。私はこの人の妻でよかったと本当に思いました。

それでは、皆さんの中で奥様と別々のお部屋で寝ていらっしゃる方に一言、苦言を申し上げます。ある倫理の会長に、明日就任するという方が前夜、「おやすみなさい。明日は会長あいさつがあるから、起こすわよ。」ということで、それぞれの部屋に分かれて寝たんですね。朝になってもなかなか起きてこないご主人を起こしに部屋に行ったら、ご主人はくも膜下で亡くなっていたのです。もし一緒の部屋で寝ていたならば、苦しんだ時に奥様が救急車を呼んでいたでしょう、助かったかも知れません。別々の部屋で寝ている方、絶対に今日から一緒の部屋で寝てください。私は夫が亡くなったから言うのですが、1年間主人を看護させて頂いたから今があるのです。だから皆さん、ぜひとも今ご健在の素晴らしい女房が俺の妻だということを今日からまた思い返して頂きたいと思うんです。そして、より奥様を愛し、尽くしすぎるほど尽くして頂きたい。そうすると本当に奥様はいい夫と結婚してよかったとそう思ってくれます。夫婦は本当に素晴らしいです。夫婦は夫にふさわしい奥さん、そして奥さんにふさわしい夫がちゃんと夫婦になっているんですね。私は主人のことを「あなたは世界一素晴らしい夫です」と書いた時に、世界一素晴らしい夫と結婚していた、その妻なのだと改めて思っています。

「決してあきらめない」というテーマに沿ってお話しますと、ロータリーさんも今、普及でいろいろお悩みになっているということを聞いて(倫理もそうでございますが)、一人の青年商工会議所の林達夫さん、この方を倫理に入れさせて頂いたお話をさせて頂きます。

林さんは素晴らしい方で、今1500回以上、全国でボランティアで講和をされています。その講和に、ある人の紹介で行きまして、素晴らしい話を聞いてきました。商談で三菱との契約をしたいということで訪問したのに取り合ってもらえず、彼は毎日毎日通い、三菱の方が朝、家を出るときも、会社の前でも、しつこいくらい挨拶をしたりして、100回目に秘書を通して「入りなさい」と言われました。その時に三菱の方は、それまでの名刺を99枚持っていたわけで、彼を試していたのです。そういう方法で取引が決まったというのを彼の講演で聞いていました。

私が林さんの所へ行った時、「倫理の話をしたいのですが。」というと「ごめんな、これからお客が来るんだよ。」と言われました。私も断られてもニコッと笑って「では来月また来ます。」と言って毎月アポを取って行きました。毎月行って23回、2年間通いました。周りにはあきらめろと言われましたが、この人をお入れすることによって自分自身、いろんな面において勉強になるからと思い、絶対にあきらめないと思っていました。11月のお誕生日には自腹で大きな花束を持っていきましたが「ありがとう」でその時は終わってしまいました。12月、土曜日で相手の会社もお休みでした。アポを取って行ったらいつものようにお話を始められました。「林さん、お話はもう十分聞かせて頂いたので、ぜひ倫理法人会にご入会頂けませんか？」と言ったら「あんたもしつこい女だね～」と言われました。「はい、しつこい女です。」と答え、申込書を出そうと思ったら、以前に渡しておいた申込書を出してサインを始めてくれたんです。帰りにエレベーターまで送っていただいた時に一言、「米元さん、このくらいやらなきゃダメだよ。」と言っていただきました。

皆さん、どうでしょう。やはりロータリーに入って頂きたく、訪問されると思うのですが、一回断られ、二回断られ、三回断られると、行くのが嫌になっちゃうんですよね。でも私は23回行きました。24回目に入っていただき、彼は5年間、続けておられます。いろいろな倫理法人会で、楽しい浪花節のお話をして頂いているのです。

私が外資系の会社で日本一になった、それというのも初めは、庭に家を建てたときに小さなアパートですから自分たちでやればいいのに、23歳の若さでしたから不動産屋さんに頼んだのですが、その不動産屋さんが化粧品のお仕事をしていたんです。私は9人姉妹ですから、「この人に教えたら絶対に広がる」と思ったのでしょう、高輪プリンスでのミーティングに誘われました。一回目は「歯が痛い」2回目は「子供が熱を出した」、3回、4回と断りました。ところが5回目に夕方ピンポンとなって出て行った時に断りきれず、1回だけ行こうと思い、その方の車で行ってみました。すると高輪プリンスに紳士淑女が500人位集まっているんです。その世界的な会社の商品、クリーナーがとてもいいので「姉妹がいるから10本買ってみんなに売ろう」と簡単な気持ちで購入しました。するとその方が「売っちゃダメよ」と言いました。どうしてかと聞くと、「米元さんも10本、会員で安く買ったでしょう。相手に安く買えることを教えましょうね。」

倫理もそうです。いろんな苦難があって指導を受け、実践し、体験でそれをみんなに普及しているわけですね。4回断って5回目に誘ってくれたおかげで今があるわけです。ここで勉強になりました。しつこさと熱心さは紙一重。ですから、断った時から営業が始まるのです。断った人こそ、入ってくれた時は強いです。今、私はインストラクターという資格も頂いて、17年間倫理をバリバリやらせて頂いております。

そして癌にもなったのですが、21年間倫理をやっている間に、左腕骨折、右腕骨折、右足骨折、乳癌とこれだけやってきました。一般の人が聞けば、ただのおっちょこちょいですが、これらは全部必要なことだったのです。全部に理由がありました。乳癌の場合は、おっぱいは与えるものです。だからギバーになりなさい、求めてはいけません、ということだったのです。右腕骨折の場合は、右腕は利き腕、利き腕は片腕、片腕に感謝していますか、ということだったのです。その時、感謝していなかった、役員のことを責めていました。「あの人は口ばかりで普及しない」とか娘には「早く帰ってきて家事を手伝ってく

れればいい」といろいろな責め心が出ていました。それらを全部反省しました。そして、右足の骨折の時は、中央地区長と会長の両方をやっていました。「中央地区長として渋谷中央倫理法人会が模範となるように足元を固めろ」と言われたんです。とってつけたようですが、「そうなんだ」と単純にそう思いました。車いすに乗っていたのですが、そう思ったとたん、30分後に歩けるようになりました。乳癌の時も、「来てしまったものだから、これ以上悪さしないでください」と感謝したんです。すると悪性の乳癌が陰性になり、抗がん剤、放射線治療、ホルモン剤、一切なく6年目を迎えております。癌というのは心の持ちようなのです。癌細胞も生きています。だから「癌のやつ！」と言ってはいけません。ある方が、みんなの前でこう言っていました。「癌細胞もかわいそうだな。米元さんのおっぱいでは育たなかった。」癌になった方が吉本興業のお笑いで治ったという話もありますね、だから病気になっても怖くないんです。

ただ、人を責めたり、悪口を言ったりすると病気になります。人の長所を見ることです。私はこの実践をしっかりしました。5人の方、その中で一人は嫌いな方がいましたが、その5人の長所を毎日一行ずつ書いていました。100以上書いたところで、それ以上書くと重複してしまうので、その日から日記を書くようにしました。今6冊目です。そうやって人の長所を書いていくと、短所が見えないから、自分も豊かな心になっていくんです。責め心がなくなり、人生楽しいです。今、私は企業セミナーや話力の講師もさせて頂いているのですが、人と接していることがすごく楽しくて、後継者倫理塾では30代くらいの2代目の若手は非常に純粋です。塾長の私の後ろ姿を見てくれている訳ですから、下手なことはできません。若者と出会っていると自分までイキイキしてきます。

最後に父が私にプレゼントしてくれた座右の銘を言って終わりにしたいと思います。一つは、うちの息子が高校時代に父の家に遊びに行ったときに父はこう言ったそうです。「ひろし、男はな、人生の途中の勝ち負けは気にするな。男は死ぬとき勝てばいい。」そして私に言ってくれた父の言葉は「お前はおしゃべりだから、人様に会う時は頭は低く、目は高く、感謝するより感謝される人間になれ。感謝される人間になるには、常日頃から感謝していなければ、感謝されるわけがない。」そして私は本当に皆様のおかげで今日あります、ということで人生を過ごしております。本日はありがとうございました。

■点鐘：中丸会長